

日本経済新聞社 2006 (日刊)

日本経済新聞

8月11日
金曜日

繊維検査機
中国で販路開拓
常盤商事 国内需要減補う



繊維関連機械の製造・販売を手掛ける常盤商事（福井市、藤原義典社長）は中国で検査装置の販売を強化する。このほど上海市で開かれた繊維機械の展示会に出展し写真。今後、同社の上海事務所の営業員を二、三人増やす。国内需要の縮小を中国での販路開拓で補う。

現地の自動車シート生産業者などを対象に、繊維の毛の長さを精密に測る起毛長画像処理測定装置を売り込む。同国の繊維関連企業の間でも品質水準の向上が課題となっているとい

「検査装置の需要は高い」（藤原社長）とみている。

生地の上塗り確認するためのパドル染色試験機なども取り扱っている。二〇〇七年五月期の中国での売上高は、前期の六倍の三千万円を目指す。